

大曲工高ものづくり同好会

全国大会で優勝した
際に使ったロボット



大曲工業高校（大仙市）のものづくり同好会（11人）が2023年度、プログラミングした自作ロボットの性能を競う大会「WRO（ワールドロボットオリンピック）ジャパン」のミドル競技シニア部門で全国1位となった。同好会はこの成績を評価され、全国の工業高校校長で組織する団体から、23年度の生徒表彰に選ばれた。

自作ロボ大会で力発揮



全国大会での成績が評価され、表彰を受けた同好会のメンバー

昨夏全国V、校長協表彰

大会は、規定の部品を自由に組み合わせてロボットを製作し、プログラミングに基づく動作の正確性を競う。指定された色のプロッ

クを所定の場所に移し、その点数で順位が決まる。同好会は昨年8月8日の県大会で優勝。同月26日に都内で開かれた全国大会で、高校生を対象としたシニア部門を制した。主にプログラミングを担当した草薙琢心さん（2年）は「おおよそイメージの成績を残した1学年上の先輩たちを超えると言っていた。」「3年間やってきて最高の成績。有言実行がなかった良かった」

「3年間やってきて最高の成績。有言実行がなかった良かった」

1、2年生計10人の後輩たちに「先輩と後輩が遠慮なく言いたいことを言い合える雰囲気、これからも大事にしてほしい」とエールを送る。

夏の大会での活躍が評価され、今年2月には全国工業高等学校校長協会から表彰を受けた。山崎さんから会長を引き継いだ塩寺悠平さん（2年）は「24年度も全国優勝を目指す。チームワークを大切に、同好会を盛り上げていきたい」と誓った。（佐藤拓）